

ロボットによる省人化、建設機械の遠隔操作

自律4足歩行ロボットによる省人化



レーザーキャナ

工事名: 令和5年度広島西部山系山本9号砂防堰堤外工事
受注者: 宮川興業株式会社 工期: R5.7~R7.2(延期予定)

-効果-

- ・高低差40mの砂防現場における、土工や構造物の3次元測量を日々自動で実施。予実管理に貢献
- ・日々変わる現場状況を計測(安全巡視@往復1km)し、危険箇所の早期把握に貢献

バックホウの遠隔操作



遠隔操作室

MCバックホウの遠隔操作状況



遠隔操作中のバックホウ

- ・土石流発生源での掘削作業であったが遠隔重機で安全性が向上
- ・安全で快適な場所から施工を行うことが可能
- ・将来的には複数の建設機械を1人で切り替えながら操作を行うことで省人化が期待